



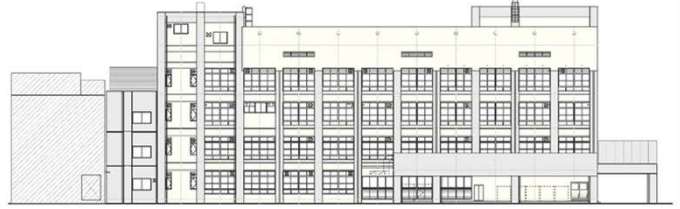
# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

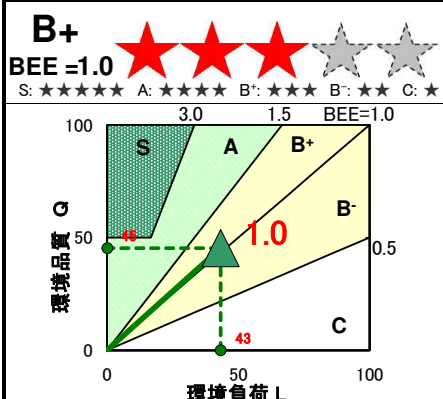
## 1-1 建物概要

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 建物名称    | 磯路小学校                   |
| 建設地     | 港区磯路3丁目                 |
| 建築用途    | 学校                      |
| 建築主     | 大阪市長                    |
| 設計者     | 大阪市都市整備局企画部             |
| 敷地面積    | 9,393.28 m <sup>2</sup> |
| 建築面積    | 1,097.13 m <sup>2</sup> |
| 延床面積    | 3,206.13 m <sup>2</sup> |
| 構造/階数   | RC造 / 地上5階              |
| 完了年(予定) | 2027年9月                 |

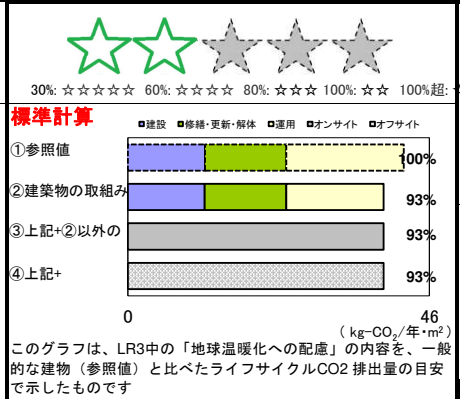
## 1-2 外観



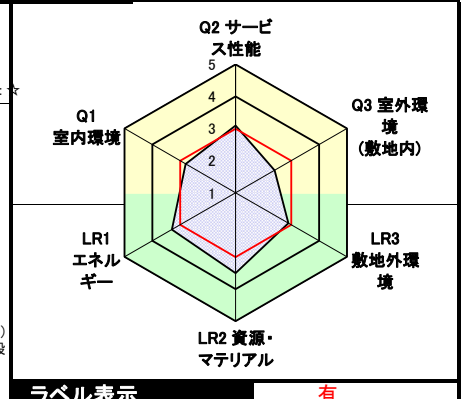
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

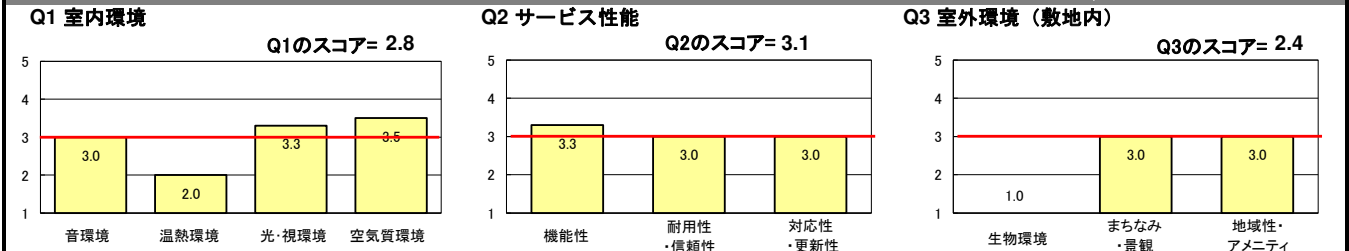


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

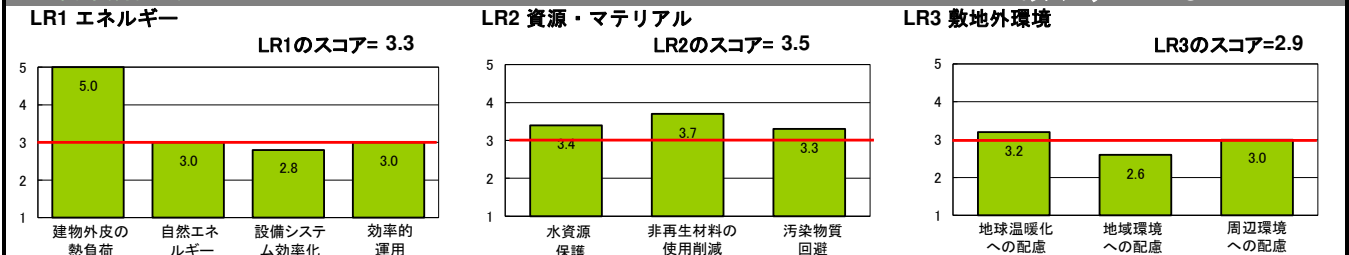


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

|   |   |  |
|---|---|--|
| 総合<br>特になし  |   | その他<br>特になし  |
| Q1 室内環境<br>内装材F☆☆☆☆、VOCの発散が極めて少ない材料を選定している。           | Q2 サービス性能<br>天井高のゆとり、維持管理（防汚性、防錆）に対する配慮、設備更新周期の長期化への配慮している。                         | Q3 室外環境（敷地内）<br>周辺の街並みや既存建物との調和を考慮し敷地内に可能な限り緑化を行っている。大阪市の「建築物に付帯する緑化等に関する指導要綱」に適合。 |
| LR1 エネルギー<br>省エネへの配慮について、集中管理コントローラーによるエネルギー管理を行っている。 | LR2 資源・マテリアル<br>節水型機器を採用して<br>る。<br>材料使用量の削減を行っている。<br>躯体材料以外におけるリサイクル材を3品目以上用いている。 | LR3 敷地外環境<br>グラウンド中に雨水貯留槽を設置し、雨水流出抑制を行う。   |

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



| 環境性能           | 評価点                          |
|----------------|------------------------------|
| (1)CO2削減       | 3.0                          |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                        |
| LR3/ 1 / /     | 地球温暖化への配慮 3.2                |
| 配慮事項           | 大気汚染防止について、CO2排出率を参照値以下としている |

| 環境性能                    | 評価点  |
|-------------------------|--|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策       | 2.0  |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | 概要記入欄  |
| Q3 / 1 / /              | 生物環境の保全と創出 1.0                               |
| Q3 / 3 / 3.2 /          | 敷地内温熱環境の向上 3.0                               |
| LR3/ 2 / 2.2 /          | 温熱環境悪化の改善 2.0                                |
| 配慮事項                    | Q3/3/3.2敷地内温熱環境の向上について、評価ポイントの合計値が11ポイントとなった |

| 環境性能           | 評価点                         |
|----------------|-----------------------------|
| (3)建物の断熱性      | 5.0                         |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                       |
| LR1/ 1 / /     | 建物の熱負荷抑制 5.0                |
| 配慮事項           | BPI <sub>m</sub> =0.79となった。 |

| 環境性能           | 評価点                         |
|----------------|-----------------------------|
| (4)エネルギー削減     | 3.0                         |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                       |
| LR1/ 3 / /     | 設備システムの高効率化 2.8             |
| 配慮事項           | BEI <sub>m</sub> =0.83となった。 |

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること（新築時）  
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 非住宅部分[BPI][BPI<sub>m</sub>]  
 - (相当) 0.79

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI<sub>m</sub>] 住宅部分[BEI] 非住宅部分[BEI][BEI<sub>m</sub>]  
 0.83 - 0.83